

普及だより

●編集発行

大隅地域振興局農林水産部農政普及課
肝属地域農業改良普及事業協議会
ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/chiiki/osumi/index.html>

鹿屋市打馬2丁目16-6
TEL：0994-52-2146
FAX：0994-52-2147

<平成29年度普及活動の方針について>

肝属地域の農業振興上の課題や施策等を踏まえ、農業者や関係機関・団体と密接に連携しながら、次のような普及活動を展開します。

1 肝属地域の農業を支える担い手の育成

地域農業を担う認定農業者、青年農業者、新規就農者等に対し、技術・経営等の改善支援を通じて、地域農業の核となる農業者の確保・育成に取り組みます。また、女性農業者が農業や地域活動に参画できるよう活動支援を行います。

2 肝属の特性を活かした産地づくり

野菜、果樹、花き、畜産、水稻等の品目について、試験研究機関等で開発された技術、現地で実証された技術及び畑かんを活用した技術等を組み合わせ、地域の特色を活かした取組を展開し、技術の確立・普及を図ります。また、安心・安全な農産物生産のため、IPM技術の確立と普及に取り組みます。

3 地域の特色を活かした地域営農の仕組みづくり

地域農業の持続的発展のために、肝属地域の営農を支える集落営農組織等の取組を支援します。また、特色ある地域の営農システムづくりを進めます。



新規就農者複式簿記基礎研修



ヒョウタンソウムシ被害調査



水稻移植前栽培講習会



茶K-GAP先進地研修会



畑かん話し合い活動状況



肉用牛飼養管理研修

<指導農業士の認定者紹介>

「指導農業士」とは、優れた農業経営を実践し、青年農業者の育成に対する熱意と指導力のある農業者を知事が認定するもので、地域農業を支える青年農業者等の育成を支援していただいています。

県内では、平成29年1月末までの県指導農業士の会員数は230名となっており、**肝属地区では、平成28年度に新たに4名が指導農業士に認定され、現在43名で活動しています。**

肝属指導農業士会では、新規就農者の巡回訪問をはじめ、新規就農者・青年農業者を対象にした各研修会における助言指導、就農トレーナー研修会など、青年農業者の育成を図るために積極的に活動しています。新しい指導農業士がかわり、今後、さらに活発な活動が期待されます。



(ひらおか けんいち)
平岡 健一 さん
(鹿屋市, 野菜)



(だん ゆういち)
段 優一 さん
(錦江町大根占, 甘藷 野菜)



(やどりはら すすむ)
宿利原 進 さん
(錦江町大根占, 甘藷 野菜 タバコ)



(しろい こういち)
白井 浩一 さん
(錦江町大根占, 甘藷 野菜)

<青年農業士の認定者紹介>

肝属地区において新たに青年農業士に認定された方を紹介します。今回は肝属地区より2名の青年が「青年農業士」として認定されました。

◎「青年農業士」とは・・・鹿児島県が認定する制度で、認定を受けるには「栽培技術」「経営管理」についての研修を受講し、経営課題を解決する手法を身につけ実践します。その成果をとりまとめ、発表・審査を経てはじめて認定される制度です。

中村悠喜さん 肝付町(作物)



中村さんは肝付町で水稲を栽培しています。今回は「普通期水稲と早期水稲等の作業の両立にむけて」のテーマで取り組み、適期作業を促進するための改善方法を見いだしました。現在、地区土地改良区の役員等を務め、地域農業を牽引しています。

溝田直志さん 南大隅町(ピーマン)



溝田さんは南大隅町根占で施設ピーマンを栽培しています。今回「土着天敵を活用したピーマン総合的害虫防除技術の確立」のテーマに取り組み、環境と調和することによる減化学農薬栽培への取組が評価されました。

<垂水市大野地区公民館が内閣総理大臣賞を受賞>

平成28年11月23日、明治神宮会館(東京都)において、平成28年度第55回農林水産祭式典が行われ、垂水市大野地区公民館が、「むらづくり部門」において栄えある『内閣総理大臣賞』を受賞しました。

大野地区は標高550mの中山間地域にあり、大正3年桜島噴火の移住者等が開拓した、2集落、総世帯数87戸からなる地区です。過疎化・高齢化が進み小中学校が閉校する中、「大野の人を増やしたい」という願いを叶えるため、地域住民が話し合いを重ね2年7ヶ月かけて行動計画を策定しました。



地域の伝統食材「つらさげ芋」のブランド化による農業振興、女性加工グループ等による6次産業化の取組、鹿児島大学等と連携した「大野原いきいき祭り」等の都市農村交流や伝統芸能の継承活動など、計画の実現に向けたさまざまな活動により大野の人が増えつつあります。

全国の中山間地が抱える過疎化・高齢化の悩みの中で、「住民の危機感への解決策をまとめた行動計画の策定・実践」、「外部の若い力を取り入れた住民総活躍の開拓魂によるむらづくりへの挑戦」が、小さな地方創生、過疎地域のモデル事例となり得るとして高く評価され、今回の表彰となりました。

＜肝属地域女性農業経営士会活動を紹介します＞

肝属地域女性農業経営士会は、知事から鹿児島県女性農業経営士に認定を受けた方々の組織です。

女性農業経営士になるためには、地域振興局農政普及課が主催する「チャレンジセミナー」で、農業経営、農家生活管理についての基礎的な研修を受講していただき、さらに、県立農業大学校で、1泊2日の「女性農業経営士養成研修」を受けます。その後、女性農業経営士の認定の申請・審査会を経て、県知事が認定します。

認定後は、お住まいの地域で女性農業者として自らの経営発展に努めるとともに、新規就農者や就農してまもない配偶者の方々の相談活動、肝属地域女性農業経営士会活動（資質向上研修や親睦交流）、県農村女性リーダーネットワークの活動に参加していただいています。

農政普及課では、関係機関と連携し、女性農業経営士認定者を増やし、女性農業者の多様な能力発揮の環境づくりを、肝属地域女性農業経営士会とともに取り組んで参ります。



＜肝属地域女性農業経営士会会員＞



＜県農村女性リーダーネットワーク研修会＞



＜鹿屋農業高校責善寮1年生への講話＞



＜新規就農者巡回訪問活動＞

知って**得**する!技術情報!!～野菜編～

<土着天敵を活用して農薬散布回数の低減を!>

本県は土着天敵（害虫を補食する益虫のうち地元で生息しているもの）の宝庫です。この土着天敵を活用し、農薬散布軽減に取り組む農家が年々増えています。土着天敵の活用事例について紹介します。

1 はじめに

管内で主に栽培されている果菜類（ピーマン、きゅうり、なす、カラーピーマン）には最も防除が困難で、品目によってはウイルス病を媒介する「ミナミキイロアザミウマ（以下 アザミウマ）」という害虫が発生します。本害虫は多くの農薬に抵抗性を発達させており、年々、農薬散布効果も低減しています。

そこで平成22年から市販が開始された天敵「スワルスキーカブリダニ（以下 スワルスキー）」を導入する農家が急増しました。

しかし、スワルスキーはアザミウマの卵と若齢幼虫しか補食しないため、春先の気温上昇に伴いアザミウマが増加するとスワルスキーだけの防除は困難となり、慣行防除に移行する農家が多く見受けられました。

そのような中、近年、**土着天敵の「タバコカスミカメ」を活用したアザミウマ対策が注目**されており、年々、実践農家数も増えています。タバコカスミカメの生涯最大捕食推定量はアザミウマ2齢幼虫で150頭程度です。



< ミナミキイロアザミウマ >



<タバコカスミカメ>



<ハウス谷部のクレオメ>

2 土着天敵「タバコカスミカメ」の活用方法

(1) タバコカスミカメを集める

タバコカスミカメはゴマやクレオメを露地もしくは屋根かけハウス内に植えておくと高温・低温時期を除き簡単に集まってきます。

(2) タバコカスミカメを果菜類ハウス内に放飼する

ア 栽培品目の定植に併せて、クレオメをハウス谷部の筋交いの部分に1～2株ずつ定植します。これはハウス内に放飼したタバコカスミカメに餌や住み処を提供するためです。

クレオメのような植物を専門用語では、天敵温存植物と言います。

イ 次に、上記(1)で集まったタバコカスミカメはゴマやクレオメの上位部に多数生息しているので、上位30cm程度を切り取り2mm目合いのみかんネットに入れられるだけ入れます。それを10a当り10～20カ所、谷部に植えたクレオメの上に吊すだけです。

ゴマやクレオメにはタバコカスミカメの他に大型のカメムシ類も集まりますが、こうすることで、タバコカスミカメはネットから出られませんが、大型のカメムシ類は出られません。

(3) ハウス内に植栽した温存植物クレオメの管理

ハウス内に植栽したクレオメは繁茂しやすく次々に花が咲きます。クレオメを繁茂させすぎたり、花が咲いた状態では栽培品目に害虫がいてもタバコカスミカメがクレオメから栽培品目に移動しにくくなりますので、側枝や開花枝は選定して株元に置いたり、栽培品目上に吊すと害虫駆除効果が高まります。

知って**得**する! 技術情報!! ～作物編～

< さつまいもの一斉採苗(つる切り) 技術について >

さつまいもの生産現場での作業のうち採苗作業は、高温ハウス内で長時間しゃがみ込んだ姿勢で行っているため、作業者にとって大きな負担となっています。この採苗作業の省力化・軽労化を図るため、農政普及課では農業開発総合センター大隅支場と連携し、一斉採苗技術の実証試験を始めています。今回は、この技術の概要について紹介します。

1. 一斉採苗技術と慣行技術との主な違い

	一斉採苗技術	慣行の採苗技術
苗床づくり	苗床造成機	管理機
種いも伏せ込み	縦置き・苗床穴開け機 (立ち作業)	横置き (しゃがみ姿勢)
採苗方法	カマなどでの一斉採苗	はさみでの選択採苗 (しゃがみ姿勢)
苗の調整場所	倉庫内などの涼しい場所	高温ハウス内

2. 一斉採苗技術の主な作業工程

1) 苗床づくり

萌芽した苗が倒れないように苗床を**波板で囲って**いきます。この苗床づくりの前に**しっかりと深耕**することで土寄せ・伏せ込み作業が楽になります。



2) 種いも伏せ込み用の穴開け

穴開け機を使用することで、種いもを縦に伏せ込むスペースが確保できます。

穴開け機



3) 種いもの伏せ込み

成り首(芽の出る部分)を上にして、種いもを縦(地面と垂直)に伏せ込みます。**伏せ込む種いもは250g程度**の揃ったいもを準備します。この後、覆土と灌水をして、トンネルやマルチ等を被せて、温度の管理をしっかりと行い、萌芽を待ちます。



伏せ込み後

4) 採苗(刈り取り) 作業～苗の調整

カマなどを利用して、一つの種いもから出ている苗を全てつかみ、**一斉に採苗**します。その後、**日陰や倉庫内で苗の調整作業**を行います。そのため、苗の刈り取りから調整まであまりしゃがむことなく行えます。



今回の実証活動の中では、一定の広さの苗床から採れる苗の本数や苗質、また、その苗をほ場に植えた場合のイモの収量などについて調査し、本技術の普及における課題をまとめることとなっています。

知って得する! 技術情報!! ~畜産編~

< 春夏作飼料作物『ソルガム類』について >

1 『ソルガム類』とは?

ソルガム類は高い乾物生産性や多刈りが可能な再生性が特徴で、ソルガム(兼用型・ソルゴー型・スーダン型)およびスーダングラスに分類されます(表)。給与方法として主にサイレーシや青刈りで利用されますが、飼料用トウモロコシと比べて栄養価や消化性が劣るとされています。このため、近年では収量や消化性に優れた新品種が開発されています。

表. ソルガム類の特徴

草種・型		播種時期	特徴			
			茎葉	子実	収量	再生力
ソルガム	子実兼用型	平均気温 15℃以上 (5月上旬)	太	多	○	○
	ソルゴー型		↓	↓	◎	○
	スーダン型		↓	↓	○	◎
スーダングラス			細	少	△	◎



写真1. ソルガム(ソルゴー型)の草姿

2 新品種の栽培試験

(1) 品種名: 華青葉(はなあおば、ソルゴー型)

特徴: 「bmr-18」という高消化性遺伝子を持つ高消化性品種で、草丈は220cm程度とやや低く、青刈りでも扱いやすいものです。収量調査では、県収量標準に対し1番草・2番草ともに遜色ない結果でした(図)。また、台風時に倒伏がみられましたが、よく再生し収量や収穫時に大きな影響はみられませんでした。生の食い込みもよく嗜好性も良好で、栽培農家からも好評でした。今年より種子販売が開始されます。



写真2. 華青葉の葉裏(葉脈が白くなっているのが高消化性遺伝子の目印)

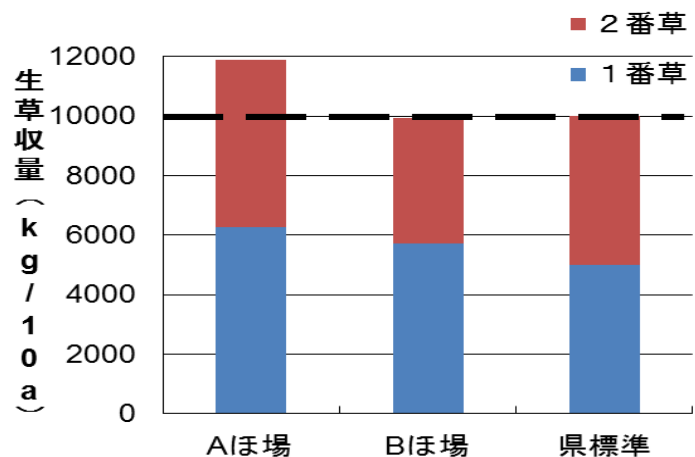


図. 収量調査の結果

ソルガム類を利用する際は、目的にあった草種・型を選びましょう。また、草丈1m以下の若刈りは青酸中毒の恐れがあり、草丈が伸びすぎると木質化が進み嗜好性が低下します。適期播種・適期収穫に努め、良質粗飼料の増産に努めましょう。

< 県青年農業者会議で大活躍！ >



平成29年2月15～16日、鹿児島県青年農業者会議が指宿市山川で開催されました。肝属地区農業青年クラブ連絡協議会からは、2人（意見発表の部1人、プロジェクト発表の部1人）が地区代表として出場し、意見発表の部で最優秀賞、プロジェクト発表の部で優秀賞を受賞しました。意見発表の部での最優秀受賞は今年で4連覇となりました。

日頃、取り組んでいる活動成果を発表する**プロジェクト発表の部**では、**翔南倶楽部の溝田直志さん（南大隅町）**が、課題名『土着天敵を活用したピーマンの総合的害虫防除技術の確立』と題して

発表し、**優秀賞**を受賞しました。また、農業に対する意見や夢、目標など自分の思いを発表する**意見発表の部**では、**ほよし耕心会の武田裕史さん（肝付町）**が、『1ターン就農した私と4Hクラブ』と題して発表し、**最優秀賞**を受賞しました。

なお、溝田直志さんと武田裕史さんは、今年7月に熊本県で開催される九州・沖縄地区青年農業者会議に県代表として出場しますので応援よろしくをお願いします。



< 農政普及課の転出者&転入者の紹介 >

4月の人事異動による大隅地域振興局農政普及課の転出者及び転入者は、以下のとおりです。

<転出者> **お世話になりました！！**

上村 利久（畜産試験場へ）	久木崎 英樹（農地整備課へ）	野元 浩和（始良・伊佐振興局へ）
北山 孝子（大島支庁へ）	吉留 昭夫（南薩振興局へ）	樋口 雅彦（志布志市に出向）
蛸原 直人（屋久島事務所へ）	宮ノ原 陽子（大島支庁へ）	川畑 明治（曾於畑かんせつへ）
水迫 陽子（フラワーパークへ）	松本 徹（南薩振興局へ）	濱上 修作（屋久島事務所へ）
東原 大（屋久島事務所へ）		

<転入者> **よろしく申し上げます！！**

田中 浩人（畜産試験場から）	今古川 博康（農業大学校から）	飯山 巧（鹿児島振興局から）
尾松 直志（農業開発総合センターから）	永田 良治（農産園芸課から）	谷山 浩久（曾於畑かんせつから）
今村 正昭（始良・伊佐振興局から）	美座 芳江（熊毛支庁から）	有村 良文（曾於畑かんせつから）
渡辺 葉子（始良・伊佐振興局から）	中野 祐歩（南薩振興局から）	東園 みさと（新規採用）
松ノ下 和輝（新規採用）	本山 美月（新規採用）	